

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●23日のWTI原油は、前日比1.71ドル高の61.07ドルとなった。
米財務省は23日、イラン政府の反政府デモ隊への弾圧を理由に挙げ、イラン産石油・石油製品の輸送に関わる9隻の船舶と8つの関連企業に対して新たな制裁を課したとの声明を発表した。

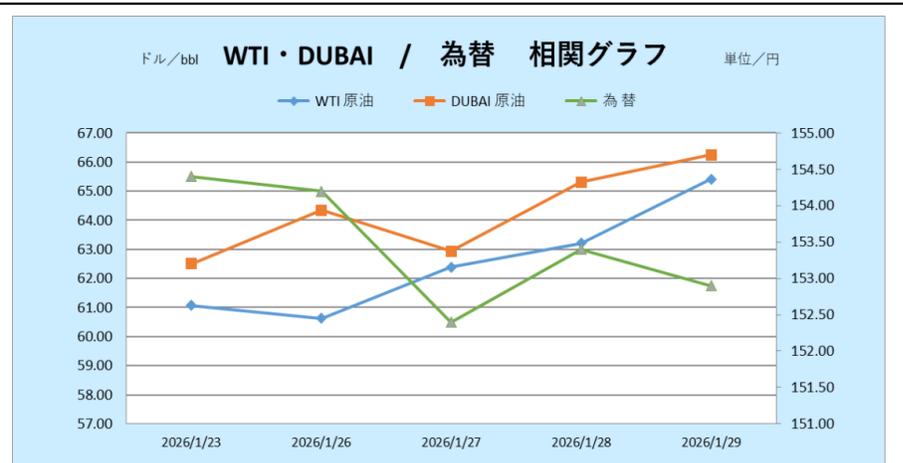
●26日のWTI原油は、前日比0.44ドル安の60.63ドルとなった。
カザフスタンのエネルギー省は26日、火災の影響で18日に停止していた同国最大のテンギス油田が生産を再開する見通しだと発表した。これを受けて、過度の供給不安が和らいだ。

●27日のWTI原油は、前日比1.76ドル高の62.39ドルとなった。
米東部から南部の広範囲を24日以降襲った大寒波の影響で、ロイター通信によると、アナリストやトレーダーらは、週末にかけて米国内の生産量のうち最大で約15%となる日量200万バレルが減少したと見込んだ。

●28日のWTI原油は、前日比0.82ドル高の63.21ドルとなった。
ドル安容認と受け取れるトランプ米大統領の発言を受け、前日はドルが主要通貨に対して大きく下落。ドル建て商品に割安感が生じたことを追い風に、原油は早朝ごろから買い進められた。

●29日のWTI原油は、前日比2.21ドル高の65.42ドルとなった。
トランプ米大統領は28日、SNSへの投稿で改めてイラン攻撃の可能性を警告した。核開発制限に向け新たな合意の早期締結に応じるよう要求。米国が再攻撃に踏み切れば、イランが周辺国に攻撃を与えたり、日量約2000万バレルの原油・石油製品が通過するホルムズ海峡の封鎖に波及するかもしれないとの警戒感が台頭。

2026/1/30 12:00現在 WTI原油 64.50ドル 為替 1ドル 154.66円



【次回価格変動予想】

2/5~2/11

【市況総括】

ガソリン	➡	0.5 ~ 1.0
灯油	➡	0.5 ~ 1.0
軽油	➡	0.5 ~ 1.0
A重油	➡	0.5 ~ 1.0
LSA	➡	0.5 ~ 1.0

※原油コスト「+0.5円~+1.0円」
※補助金 前週比±0円
※現時点での予測です。

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「-0.5円」、補助金は、全油種「±0円」、都合、全油種「-0.5円」の改定となった。
《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「+0.5円~+1.0円」、補助金は「±0円」で、都合ガソリン「+0.5円~+1.0円」の改定予測となっている。

【次世代エネ コラム】

＜ 液化水素サプライチェーンにより切り拓く、脱炭素社会の実現に向けた挑戦 ＞

日本におけるエネルギー資源の確保と脱炭素社会の実現を両立するため、次世代エネルギーとしての水素に注目が集まっている。水素は燃焼時に二酸化炭素を排出しない一方で、体積が大きく、マイナス二百五十三度という極低温での管理が必要のため、大規模な輸送や貯蔵の効率化が普及の大きな障壁となっていた。この課題を解決すべく、日本水素エネルギー株式会社は川崎重工業と共に、世界初となる液化水素サプライチェーンの構築に挑戦する。

液化水素は水素を液体化することで容積を大幅に縮小できる利点があり、同社は新エネルギー・産業技術総合開発機構の事業に採択され、四万立方メートル級の運搬船や五万立方メートル級の受入基地の建造を進めている。二千三十年までに国内由来の液化水素を用いた海上輸送の実証を行い、その後は海外で製造された安価な水素を大規模に導入することで、エネルギーの安定供給と社会の脱炭素化を加速させる計画である。

みずほ銀行はこの革新的な技術の社会実装を支援するため、トランジション出資枠を活用した資金供給を行い、金融と産業知見の両面からプロジェクトを後押ししている。この取り組みは、日本の産業競争力を強化し、未来のエネルギーインフラを変革する重要な一歩であり、関係各所との連携を通じて、水素が日常的に利用されるカーボンニュートラルな社会の実現に向けた確かな基盤となることが期待される。